



地域づくり推進事業の様子

第6章 市民協働のまちづくり (協働・行政経営)

第1節 市民力・地域力を活かした市政を運営します

第2節 経営感覚を持った行財政運営を進めます

第3節 情報のひびきあうまちづくりを進めます



前橋市役所 本庁舎と議会棟

第1節 市民力・地域力を活かした市政を運営します



地域づくり交流フェスタ



中央地区地域づくり協議会

平成29年度に目指す姿

- ◎市民と行政が情報を共有し、相互理解を深めながら、協働によるまちづくりを展開しています。
- ◎市民の人権が尊重され、豊かな文化に恵まれた、潤いと活力のある市民生活が営まれています。

現状と課題

- 社会経済情勢の変化や個人の価値観が多様化する中で、行政が一律に提供する公益サービスでは社会ニーズへ対応できなくなっています。官民の役割分担を見直し、行政によって担われてきた「公共」を、市民・地域・行政の協働によって実現する必要があります。
- 市民・地域・行政の協働を実現するためには、市政情報を分かりやすく伝えるだけでなく、市民ニーズを正しく把握し、市民と行政の情報共有化と相互理解をさらに深めなければなりません。個人情報 を適正に保護しながら、行政活動の透明性確保に努め、市民に開かれた行政を実現する必要があります。
- 本市では、国や県と協調し、基本的人権の尊重と人権意識の高揚に取り組んできました。しかしながら、同和問題や女性、子ども、高齢者、障害者などにおいて、人が人らしく生きていける権利を侵されてしまう現状が見受けられます。差別や偏見、虐待などのない、一人ひとりを尊重する社会の構築が課題となっています。

この政策に対する市民の実感

市役所の行うさまざまな活動が、市民や地域の協力を得ながら取り組まれていると感じる市民の割合

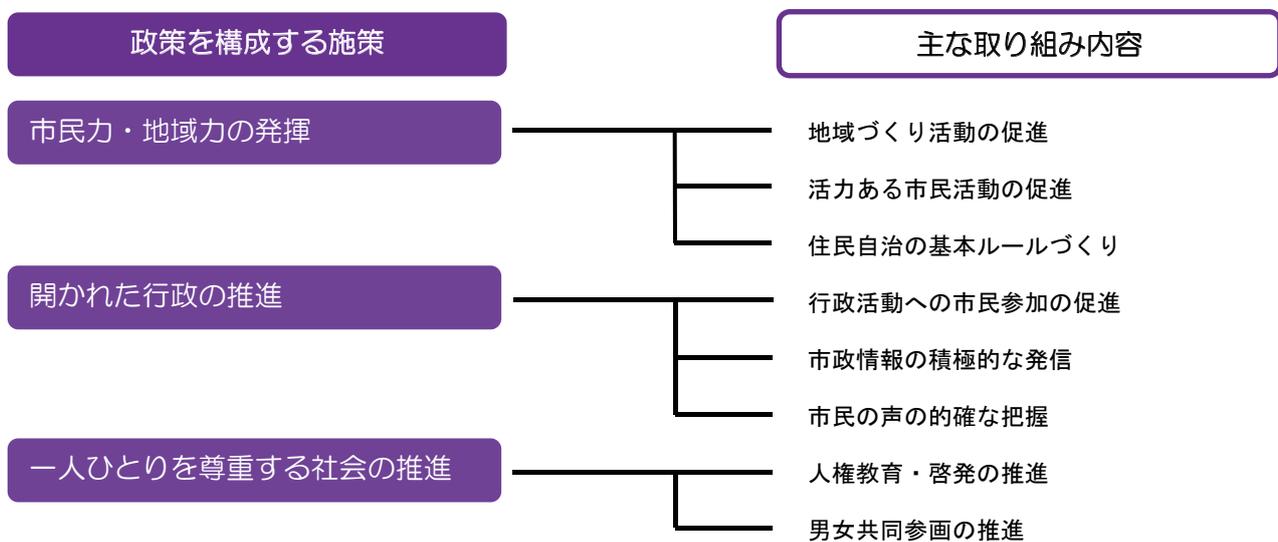


■とても感じる ■まあまあ感じる ■あまり感じない ■まったく感じない ■わからない ■無回答・不明

政策の方針（基本的方向）

- 市民と行政のパートナーシップ*¹をさらに促進し、市民の力、地域の力を発揮できるまちづくりを進めます。
- 市民と行政の情報共有・相互理解を深めながら、市民の声を活かした、身近で開かれた行政を実現します。
- 社会性と協調性を育みながら、「個」の尊厳が大切にされ、誰もが分け隔てられることなく、自分らしく生きることができる豊かな社会づくりを進めます。

施策の体系



平成29年度の目標（成果指標）

指標名	現状値	目標値(H29)	指標の説明
市民活動支援センターへの団体登録数	219 団体 (H25.3.31)	250 団体	市民活動支援センターに登録している市民活動団体数から、市民活動の充実度を測る指標です。
市民提案推進システムによる提案意見の実施数	17 件 (平成24年度)	25 件	市民からの提案を実際の施策に結びつけた件数から、市民参加による市政が推進されているかどうかを測る指標です。
女性が子育てしながら働くことを支持する市民の割合 (男女共同参画週間市民アンケート項目)	38.0% (平成24年度)	43.0%	男女共同参画にかかるアンケート結果から、女性が働きやすい職場・家庭環境にあるかを測る指標です。

用語 *1 パートナーシップ：社会的課題や身近な地域課題を解決するため、役割分担を明確にし、協力関係を築くこと。

第2節 経営感覚を持った行財政運営を進めます



平成29年度に目指す姿

- ◎継続的に行財政改革が推進され、市役所がより柔軟性のある組織になっています。
- ◎限られた行政経営資源（人材・財源）の効率的・効果的な運用により、市民ニーズに即した質の高い行政サービスが提供されています。
- ◎スピード感のある意思決定、政策推進が行われ、トップマネジメント*¹が確実に機能しています。

現状と課題

- 社会経済情勢がめまぐるしく変化し、市民ニーズが多様化する中、これからの行財政運営は今まで以上に、変化に対する柔軟な対応が求められます。このため、継続的に行財政改革を推進し、市民にとってより利便性が高く、信頼される市役所を常に目指す必要があります。
- 各市町村においては、少子化・高齢化・人口減少の進展による税収の減少や社会保障費の増大などにより、厳しい財政状況が見込まれています。本市においても同様の傾向にあることから、今まで以上に事業の「選択」と「集中」を図り、効率的・効果的な財政運営を行う必要があります。
- 市民ニーズの多様化に伴い、地域課題も変化・複雑化していることから、それらの課題解決に向けて、迅速かつ的確な政策決定・推進が求められています。

この政策に対する市民の実感

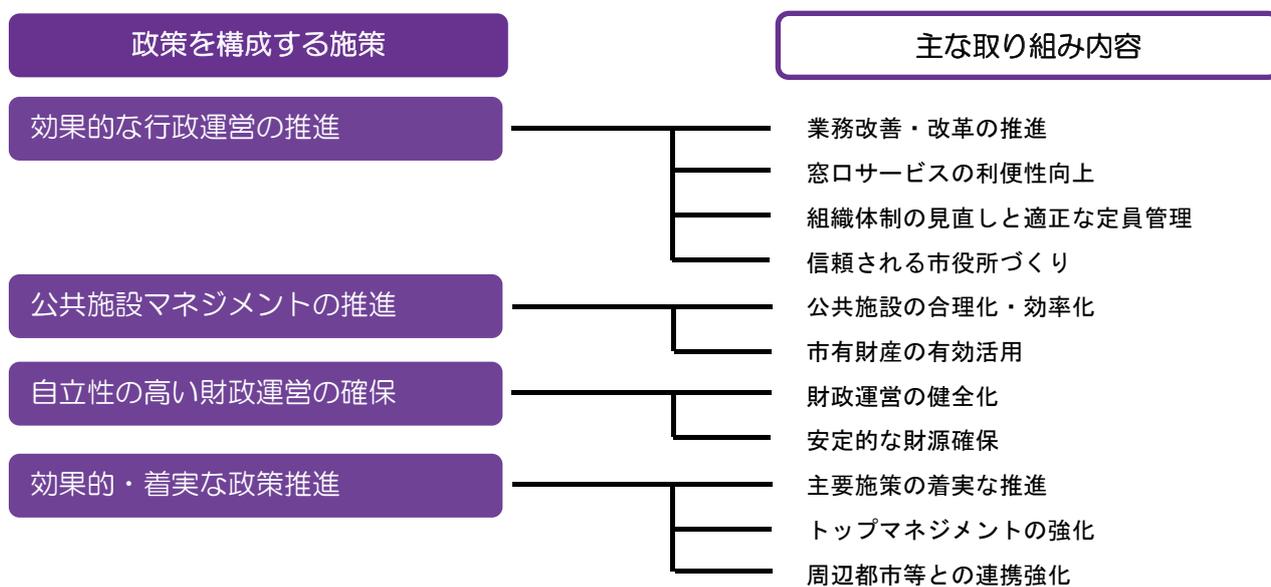
市役所は、適正な予算で質の高い行政サービスを提供できていると感じる市民の割合



政策の方針（基本的方向）

- 市民ニーズに即した質の高い行政サービスを提供し、市民との信頼関係を確保するとともに、業務の効率化により柔軟な行財政運営を実現します。
- 市民ニーズや社会経済情勢、将来の人口動態などを踏まえ、公共施設の効率的かつ適正な管理運営を推進します。
- 適正かつ安定的な財源確保に努めるとともに、事業の優先度や実施効果などに配慮した財源の配分に努め、経営感覚を持った健全な財政運営を推進します。
- トップマネジメントを強化し、スピーディーかつ的確な政策推進を図るとともに、周辺都市等との連携をさらに充実します。

施策の体系



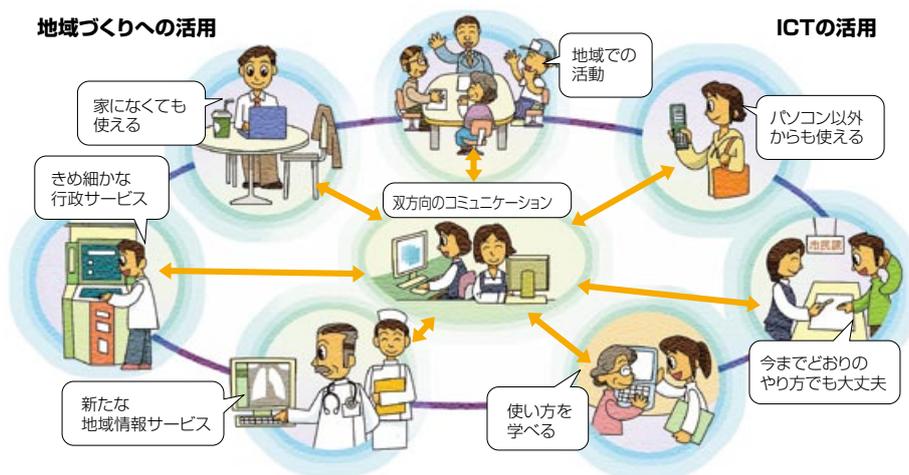
平成29年度の目標（成果指標）

指標名	現状値	目標値(H29)	指標の説明
職員数の適正化	2,800人 (H24.4.1)	2,640人 (H30.4.1)	職員数の推移から、事務事業の見直しや民間委託の推進等による適正な職員配置が進められているかどうかを測る指標です。
公共施設（公園を除く）の延べ床面積及び敷地面積の合計	5,913,107㎡ (H23末)	現状値以下	公共施設の延べ床面積及び敷地面積の合計値から、公共施設の合理化・効率化を測る指標です。
市民一人あたりの通常債*2残高	30.2万円 (一般会計H23年度末)	26.0万円	市債（市の借金）残高の推移から、後年度負担や財政の健全性を測る指標です。
主要施策の目標達成率（平均値）	—	100%	総合計画改訂版における主要施策の目標達成率の平均値から、政策推進の状況を測る指標です。

用語 *1 トップマネジメント：計画・組織・統制などの経営管理に係る基本方針や、政策決定などを行う最上層部による意思決定のこと。

*2 通常債：市債全体のうち、国から地方に交付される地方交付税の代替財源である、臨時財政対策債を除いたもの。

第3節 情報のひびきあうまちづくりを進めます



平成29年度に目指す姿

◎ ICT（情報通信技術）の活用により、市民の誰もが、安全で利便性の高い生活が送れるようになっています。

現状と課題

- ブロードバンドや携帯電話などの情報通信基盤整備の進展に伴い、ICTを利用した情報交流の活発化、利用者参加型のソーシャルメディア*1の発達、携帯電話の機能高度化など大きな革新が進んでいます。このような状況を踏まえ、政府は『新成長戦略』や『新たな情報通信技術戦略（IT戦略）』を策定し、「国民本位の電子行政の実現」・「地域の絆の再生」・「新市場の創出と国際展開」の重点戦略3本柱を掲げ、情報通信技術をさらに利活用した国民主権社会の確立を目指しています。
- 本市においても各種電子行政サービスの推進に取り組んできましたが、今後、市民が必要とする利便性の高い、効率的な電子行政サービスの充実や、質的向上などに引き続き取り組む必要があります。
- 行政手続きの電子化・ワンストップ化をさらに推進し、個人情報の保護に配慮しながら、国民ID制度*2等の制度改革への円滑な対応を図るとともに、新しい技術動向や国等の施策動向を的確に把握しながら電子行政の実現に取り組む必要があります。

この政策に対する市民の実感

日々の暮らしや、まちづくりの中で、パソコンや携帯電話などの情報通信機器が活用されていると感じる市民の割合

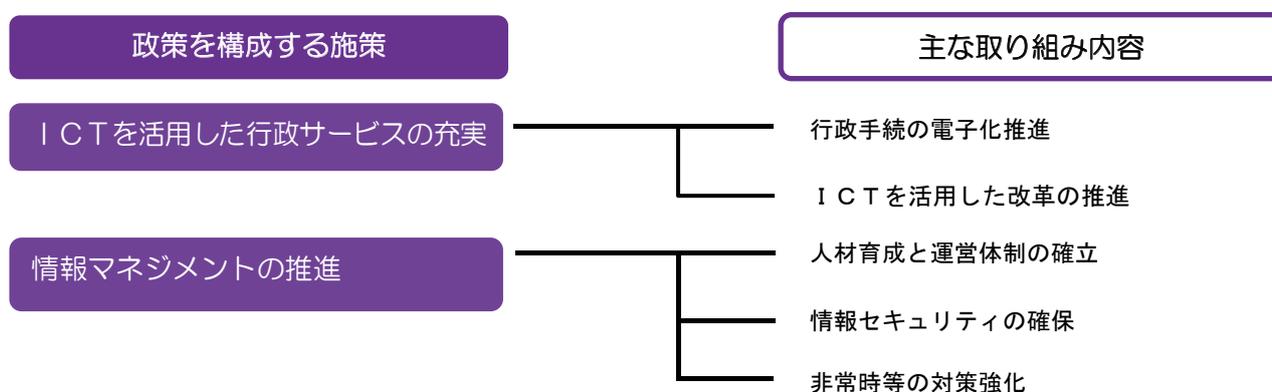


■とても感じる ■まあまあ感じる ■あまり感じない ■まったく感じない ■わからない ■無回答・不明

政策の方針（基本的方向）

- ICTにより市民、地域、行政がつながり、相互に情報が行き交う電子自治体を推進します。
- 安全で利便性の高い行政サービスの提供に向けた情報マネジメントの推進と、運営体制の確立に取り組みます。

施策の体系



平成29年度の目標（成果指標）

指標名	現状値	目標値(H29)	指標の説明
オンライン化された行政手続の利用件数	243,634 件 (平成 23 年度)	251,000 件	行政手続のうち、オンライン化された手続きの利用件数から、行政情報化の充実度を測る指標です。
情報システムの可用性（稼働率）	99.98% (平成 23 年度)	99.99%	情報システムの稼働率から、情報マネジメントが着実に推進されていることを測る指標です。

- 用語**
- * 1 ソーシャルメディア：インターネット上で利用者同士が情報を交換（送受信）することで成り立っているシステムのこと。「1対多」「多対多」の双方向で、画像や映像、文書等を組み合わせることで利用者間でコミュニケーションが可能なブログなどのネットサービスの総称。
 - * 2 国民ID制度：行政機関における情報共有の推進と、国民が自己の情報を確認できる仕組みの整備を目的とした“電子行政の共通基盤”のこと。